

教えて! 市立病院

〈第98回〉

心不全のアドバンス・ケア・プランニング

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

【今月の医療職】

看護部

看護師 なかしま りえ 中島 理恵

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)という言葉をご存知でしょうか? ACPとは、今後の治療や療養について患者、家族と医療従事者が事前に話し合うプロセスのことを言います。「人生会議」とも言われています。

心不全の患者に対しては、心不全の発症早期からこれからの生活をできるだけより良いものにするために、ACPを考えていく必要があります。

なぜ早い段階からACPを考えていくかというと、心不全はがんと違い、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、最終的には急速に悪化をしていくため、本人が望む治療やケアを決定できない場合があるからです。早期から今後のことについて話をしておくことが大切です。

具体的には、人生の最期をどこで過ごしたいか、どのような医療を受けたいかなどについて話し合います。自宅で過ごしたいという場合、訪問診療や訪問看護、訪問ヘルパーなどの利用を調整します。患者の思いを尊重し、希望に

添えるように支援していきます。

これらのことは、一度決めても気持ちが変わるかもしれませんが、その度に何度も話し合っていくことが大切です。

ACPは、より良い人生選択ができるようにするための一つのツールです。人生をより良いものにするために病院スタッフで支援していくことができます。



目指せ! 健康長寿 日本一

★★★★

【レッツクッキング! こどもお弁当屋さんはじめました】

この事業は健康長寿のまちづくりを目指した取り組みの一つで、市内企業の従業員とその子どもを対象に、地場産農産物の収穫体験や弁当作りなどを通して、家族で食や地産地消、健康を考えるきっかけづくりを行いました。

【7月23日(金)薄皮丸なす収穫体験】

今回のお弁当の食材となる置賜の伝統野菜「薄皮丸なす」の収穫体験を農家の島貫さん(下小菅)の畑で行いました。

〈第40回〉

レッツクッキング! こどもお弁当屋さん はじめました ~株式会社井上精工編~

■問合せ／健康課健康企画担当 ☎ 24-8181

葉っぱに隠れている薄皮丸なすを探し「なすあった!」「見つけた!」という子どもたちの元気な声が飛び交いました。

【8月4日(水)お弁当作り】

子どもたちは、家族が仕事をしている間に、島貫さんが育てた薄皮丸なすをはじめ、トマトやとうもろこしなど置賜産の食材をふんだんに使った、適塩で栄養バランスのとれたお弁当を作りました。

一生懸命作ったお弁当と日頃の感謝の気持ちをこめたメッセージカードを家族の職場に届け、頑張ったことや料理のポイントを話しながら一緒に食べました。家族

からは、「収穫体験から調理まで、食べ物が食卓に並ぶまでを親子で体験できてよかった」との感想が聞かれました。

皆さんも米沢で作られた食材を使った料理を食卓に並べ、地産地消を意識してみませんか?



お弁当作りの様子

詳細はホームページをご覧ください⇒



Tyler's Essay What's the T?

Vol.17

アメリカの選挙 American Elections

米沢市国際交流員
タイラー・パートン



Every four years in November, the United States garners the attention of those from other countries is during its elections. As a federal democratic republic, the president, congress, and local officials are elected by the people.

Each presidential term is 4 years, with a maximum of two terms, so the president must change every 8 years at most. Some smaller parties do exist, but candidates for these offices usually belong to the Democratic Party or the Republican Party, so the elections are usually a contest between these two parties. Since the outcome of the elections can directly affect their lives, many Americans vote in support of their respective party or favorite candidate.

(日本語訳)

4年に1度、11月に行われるアメリカ大統領選挙は、様々な国の人に注目されています。連邦共和国の大統領、議員、地方自治体の長などが国民の代表として選挙で選ばれます。

大統領の任期は4年間で2回までに限られ、最大8年で新しい大統領になります。小規模政党などもありますが、ほとんどの候補者は二大政党の共和党と民主党に属し、選挙はその2つの競合になります。選挙の結果が直接日常生活に影響を与える可能性がありますので、属している党や支援したい候補者に投票します。

YIRA NEWS

- YIRA キッチン～コロンビア編～
- 日時 / 9月19日(日) 14時～
- 場所 / 置賜総合文化センター
- 参加費 / 会員 500円・非会員 800円
- 申込締切 / 9月15日(水)
- 9月のYIRA 交流講座
- 英語交流講座 9月8日(水)
- Weekend English 9月11日(土)
- 中国語文化交流講座 9月21日(火)
- 日本語カフェ 9月25日(土)

米沢市国際交流協会 (YIRA)

米沢市国際交流プラザ「アーカス」
置賜総合文化センター1階
☎ 33-9146 ✉ yira@omn.ne.jp
ホームページ▶
www.yira-yonezawa.org

よねざわ 文化財 散歩

〈第3回 後編〉

国指定史跡 上杉治憲敬師郊迎跡

うえすぎはるのりけい し こうげいあと

上杉治憲敬師郊迎跡では、保存修理に伴う様々な調査が行われています。

解体時の調査では、建材に墨書があるということがわかりました。羽黒神社本殿の墨書からは「羽黒堂」「羽黒大権現」「天保8年(1837)」「大工棟梁情野勤弥」などを読み取ることができ、建造・修理された時代やその時代の羽黒神社の呼び方、関わった人物などを知ることができました。また、武士が刀に手をかけている絵のような墨書も見つかっており、書か

れた意図がわからないものもあります。

また発掘調査では、普門院境内は中世期に堀と土塁の二重構造を有していたことがわかりました。伊達治家記録にも天正16年(1588)普門院が伊達政宗に羽黒堂において酒を献上したとの記録があり、戦国時代に普門院は存在し、かつ城のような防御性を有していたと考えられます。また、本殿内には炭化物を多く含む焼土の層が発見されました。これは火災があったことを示していますが、当時の文書に普門院は寛延3年(1750)火災の被害を受けたが、寛

政8年(1796)敬師郊迎の前に再建されたとの記録があり、この発見はその記録を裏付けるものです。

これらは史跡が大切に守られてきたから分かったことです。今後も地域の信仰の中心、そして敬師郊迎の事蹟によって本市と姉妹都市東海市(愛知県)の架け橋としての役割を果たしていくことでしょう。



普門院解体修理 (屋根部分梁の様子)